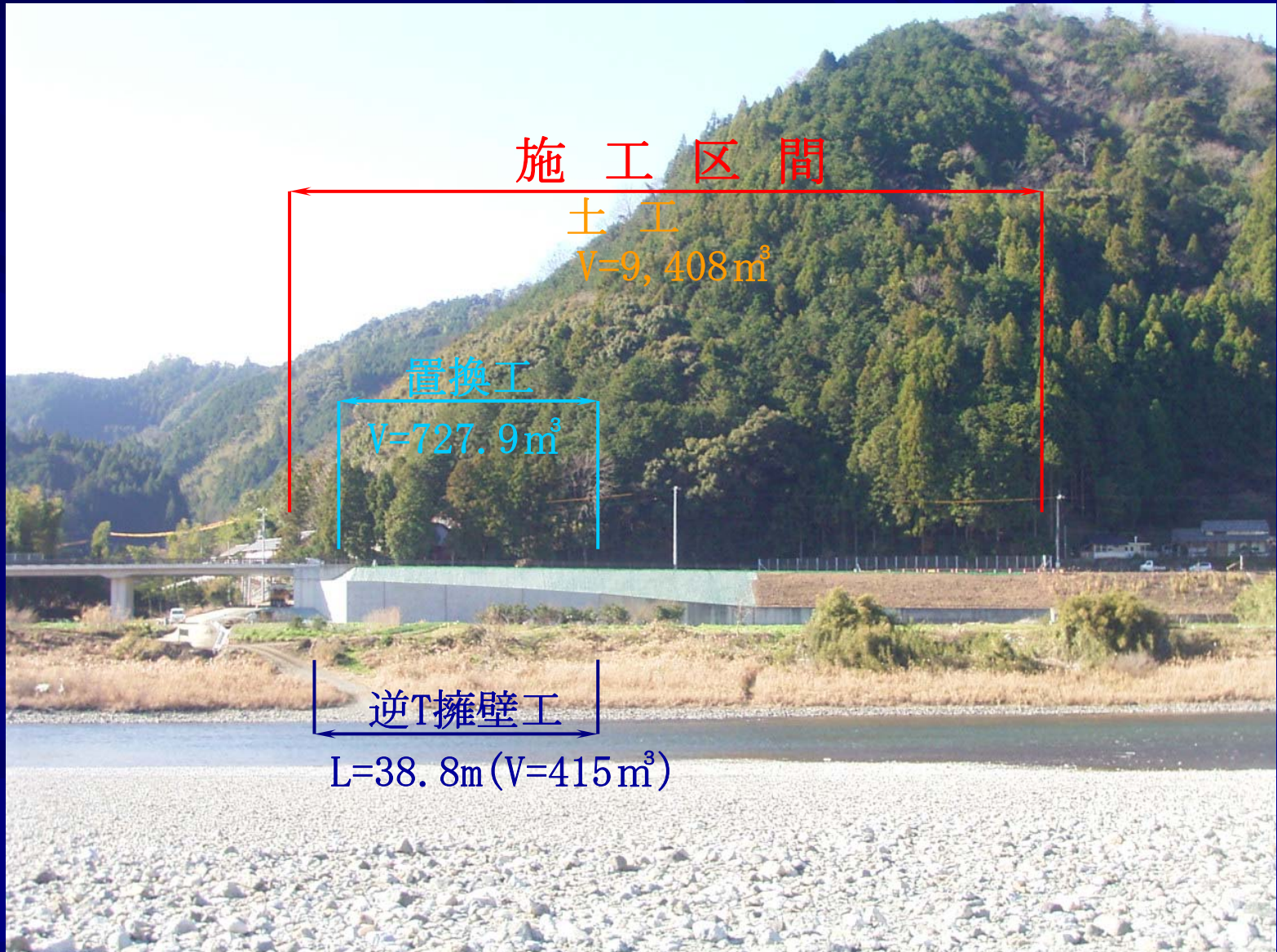


CCPM試験工事
県道庄田伊野線地方道路交付金工事

田中建設株式会社

工事概要



工事概要

施工区間

ブロック積
L=50.1 (A=165m²)



O D S C

●目的

- 工期短縮
- 利益を向上させる
- 品質の良いものをつくる
- 現道の確保
- 現場代理人(大川)の技術の向上
- 大型車両の通行しやすい道路

●成果物

- 自主管理基準を80%以内で管理する
- 現場代理人(大川)が一人前になる
- 綺麗な構造物の施工
- 工事完成図書

●成功基準

- 利益率〇〇以上
- 11月末完成検査
- 工事評点80点以上
- 地元のクレームゼロ
- 利益率〇〇以上でたらボーナス
- 工事評点80点以上でたら社員旅行

●マネジメント・リクエスト

- 地元との調整役(部長)

●リスク

- 降雨時の仁淀川の増水
- 支障物件(電柱移設)

支障物件(電柱・電柱支線)



CCPM報告書(電柱移設)



現在の施工上の問題点

- 電柱移設に関する掘削の遅れ

対応策

- 電柱の周りを鋼矢板で土留めをする
- 法面をロックボルト等で補強する
- 電柱を生コンで補強する
- 構造物の設計を変更する
- 構造物を川側へ出す
- 1スパン出きる逆Tを先行してやる

CCPM報告書(電柱移設)

■ ○実施対応策

1スパン出きる逆T(第5スパン)を先行してやる。
逆Tが終わるまでに電柱移設を終わらせる

○現場での対応結果

まず第5スパンの逆Tを先行して施工し8月28日より基礎砕石を投入し順次、鉄筋組立・型枠・生コン打設と施工していった。途中天候不順などがあったが予定範囲内で1スパン目の逆Tの施工を終えることができた。その間掘削影響線にかかる電柱の支線の撤去を工事監督員が速やかに電柱関係業者に発注してくれたので第5スパンの逆Tの施工が終了する前に掘削影響線外に支線を撤去でき、手待ちにならずに残りの床堀にかかれた。

置換工(床堀完了)



CCPM報告書



■ 現在の施工上の問題点

置換土材搬入の遅れ

(搬出先の道交第2124-2-2号の山手切土中に切土面にクラックを見張り人が発見し調査の為一時工事中止になった。)

対応策

- 置換土材を変更する
- 別工事で同等品の置換土材の有無を調査しあればそれを使用する
- セメント等で安定処理を行なう
- 施工可能な別工種があれば先行して行なう

CCPM報告書(置換土)

■ ○実施対応策

実行予算内で置換土材の変更(RC40)が可能か検討し可能であれば工事監督員に報告し置換土材変更の承諾を得る。

○現場での対応結果

置換土材搬出予定の道交第2124-2-2号の搬出見込みも少なく、実行予算内での変更も厳しいものの可能である為、工事監督員の承諾を得て置換土材をRC40に変更する事とした。

搬出先の置換土が搬出可能になりしだいその土を使用する事でコストの削減をはかる事にした。

施工は天候にも恵まれ順調に進み当初の計画日数を2日短縮して終了した。ただ最後まで搬出先の置換土が出せなかった為、この部分で若干ではあるが実行予算を超えてしまった。

置換工(碎石敷均し状況)



置換工(完了)



完 成

